

愛ある宕

4月4日(木)、前日の雨が止み、やわらかな雲の間から太陽が顔を出し、緑色の芝が地から子供たちを支える中での新任式・始業式でした。素敵な一年が始まりました。

入学式では、23名の新入生を迎え163名の愛宕小学校がスタートしました。各学年一学級規模の学校ですが、私たち教職員はこの規模のよさを生かし、全教職員がさまざまなかわりを講じていきます。

学期当初、子供たちに次の話をしました。



あたごしょうがっこうのみんなに笑顔があふれ、一体となって高め合い成長できる学級、学校、地域(チーム愛宕)を作っていきます。そのため、「あ」「た」「ご」の言葉を大切にしてください。

「あ」は、「温かい心」です。「温かい心」は、「ありがとう」につながります。
ありがとう…相手も自分も幸せになり、温かい心をつくることができます。

「た」は、「楽しむ心」です。授業や運動を先生・友達と一緒に楽しんでください。
たのしくまなぶ…授業やたくさんの行事で、楽しく学んでいきましょう。

「ご」は、「ごまかさない心」です。それは、「ごめんなさい」につながります。
ごめんなさい…人に謝る気持ちが伝わり、自分の心を素直な気持ちにできます。

「あ」「た」「ご」を大切にしていくことで、
今年度のスローガン『えがおいっぱい チーム愛宕』を達成していきましょう。

本校の教育目標は、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成」です。小学校では、子供たちが将来社会をよりよく生きるための基礎を身につけ学ぶところです。教育目標を達成するために、「子供の健やかな成長と幸せの実現のための学校づくり」に邁進してまいります。

具体的には、

1 学ぶ楽しさを感じる学校

子供の学ぶ意欲を高めて主体的な活動を促し、確かな学力を身につけ、成長を実感できる学校づくりに努めます。

2 個を伸長する学校

自他の特性を尊重し、一人一人のよさを発揮できる学校づくりに努めます。

3 温かな学校

命を大切にし、温かい挨拶が飛び交う学校づくりに努めます。

4 地域とともに歩む学校

子供が郷土への愛着をもち、子供の健やかな成長と安全のために家庭・地域と協働する学校づくりに努めます。

どうぞよろしくお願いいたします。

※「宍」の意味には、「広い」「大きい」「いわや」という意味に加え、「天子が天地を祭るところ」という意味があります。愛をもって人々を幸せにする地が、この愛宍学区です。地域・家庭と手を携えて、教育愛をもって子供の健やかな成長を目指していきたい。校長だよりのタイトルには、そんな願いを込めました。

《校長のつぶやき》

令和6年度が始まり、4月1日からの通勤路は、私にとって癒しの時となりました。国道一号線を横切り康生を抜けて北上し、伊賀橋南交差点を右折すると、景色ががらりと変化することに気づきます。美しい桜並木が続き、車窓を降ろすと、優しい春風が頬を撫でます。

小高い丘を登り、右手に桜を眺めながら右折すると、正門にある創立50周年記念門柱に掘られた神谷葵水先生の書かれた「愛宍小学校」の書が、威厳と、それでいて懐かしさと温かみを醸し出して迎えてくれます。

着任することが決まった際、「愛宍は、岡崎の学習院であり文化レベルが高い」「文化人がたくさんのお見えになる」「愛宍は、地域の方が学校を応援してくださる心強い学区である」「地域とともに子供たちを育てていただいていると実感できる学校だ」等、愛宍には伝統と歴史があり、教育活動にたいへん理解がある学区だと教えていただきました。地域・保護者の方の思いだけでなく、献身的な学校教育への協力・支援があることに感激しました。このような学校に勤務できることは、本当に幸せです。